

暮らし

ナビ

要介護状態や認知症に
なつたときに必要な費用
を保障する保険が多彩に
なつている。老後の生活
のための資産形成と保障
を組み合わせた商品や、
認知症の前段階とされる
軽度認知障害(MCI)
を対象にするものなど、
保険各社が商品性を工夫
している。

「自分が要介護や認知
症になつた状態はなかな
か想像が付かない。掛け
捨てではなく貯蓄性が
ある商品の方が生活者
になじみやすいと考え

▽貯蓄性

「自分が要介護や認知症になつた状態はなかな
か想像が付かない。掛け
捨てではなく貯蓄性が
ある商品の方が生活者
になじみやすいと考え

軽度認知障害の保障も

介護、認知症の保険多彩

は、積立金を払い戻して
受け取ることもできる
し、生涯の介護や死亡保
障に充てることもでき
る。40〜50代の加入が多
いという。

▽サポート

明治安田生命保険は2
月、「認知症ケア

月、「認知症ケア MCI
Iプラス」を発売。MCI
Iや認知症になつたとき
に保険金を支払う。MCI
I保障20万円、認知症保
障200万円が標準プラ
ンだ。
8月から加入者向けの
ウェブサイトで認知症関
連のサポートを開始す
る。健康診断結果を提出
すれば、血液検査などが
ら認知機能低下リスクを
推計するサービスなどを
提供する。担当者は「早
期発見で進行予防や回復
に役立ててほしい」とし
ている。

▽脳トレ

朝日生命保険も4月、

加入者には「認知症予
防ホッとサービス」を提
供。ウェブ上で簡単な問
題に回答するだけで認知
機能を測定できるサービ
スや、脳科学者が開発し
た脳トレアプリを利用で
きる。

SOMPOひまわり生
命保険は2018年に
「笑顔をまもる認知症保
険」を発売。MCIを保
障するほか、パートナー
企業が運営する運動、生
活習慣サポートサービス
を紹介している。



アクサ生命保険の「ユニット・リンク介護プラス」のパンフレット

認知症とMCI
I 認知症の回
復は困難だが、MCI
Iの段階なら進行を
遅らせることや健康
状態への回復が可能
とされる。

